

令和4年第1回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
梶 哲也議員	1. 公式LINEについて 公式ラインは、他市町村では災害情報、補助金・支援事業の周知など様々な活用がされているが、本町の今後の活用方法を聞きたい。	受信者が、年代・性別・配信情報等に応じて必要な情報を選択できるセグメント配信を行う予定である。また北島町防災・情報メールをLINEで受信できるように考えている。	セグメント配信を可能とし、北島町防災・情報メールもLINEにより受信可能とした。	総務課
	2. 給食センターについて ①給食センターの建替にあたり、センターの建物自体を緑化する、または敷地内に公園などを設けるなどの対策をしてはどうか。	給食調理に対する衛生設備や防災時の対応、緑化など様々な協議を関係各課とを行い、給食センター自体の運営や設備等も他市町を研究し検討していく。	建て替え時には、防災等の給食調理以外への利用については検討する。	教育委員会
	②本町は避難所が不足している。施設の避難所化、災害時の食料供給施設などのインフラ整備について見解を聞きたい。	衛生面の観点から避難所としては難しいが、非常時には食糧供給を行う重要施設として有効な活用が期待される。	左記により完結。	危機情報管理課
	③地元飲食店の商品をレトルトなどに製造できる設備・商品開発室などを整備し、ふるさと納税の返礼品の開発・拡充に繋げてはどうか。	給食センターでの商品開発室等の整備は、様々な制約が考えられる。今後、他市町の事例を研究していく。	今後も事例等を研究していく。	まちみらい課
	④本町の高齢化について、高齢者の方向けにお弁当を作り、安価で配送ができるような設備に設計してはどうか。現時点での要望や提案を聞きたい。	町全体の需要と供給量なども含めて検討していきたい。	左記により完結。	社会福祉課
	⑤子育て世代に向けて、健康でバランスの取れたお弁当を安価で宅配できるような設備設計しておく、子育ての負担軽減になり、より子育てしやすい町になると考えるが、どうか。	子育ての負担を減らし、様々な支援に繋いでいける取組みであり、施設設備については、今後の検討課題としていく。	左記により完結。	子育て支援課
⑥1つの機能しか持たない施設より、将来、収益を生む複合施設としての検討も必要ではないか。運営方法は公設民営で、食材の管理は町がするのが最善だと考えるが、見解を聞きたい。	食に関する正しい理解と適切な判断力を養う重要な教育施設の一部として、また学校給食衛生管理基準も鑑み、関係各課と協議しながら施設の検討をしていく。	施設建設計画の際は、関係各課との協議や他市町村を参考にしながら検討していく。	給食センター	
橋本典幸議員	1. 遺伝子組み換えとゲノム編集食物 遺伝子組み換え作物には食品安全審査や表示が義務付けられているが、ゲノム編集作物に関しては届出も任意の状況である。今後、ゲノム編集された、食物栽培キットが小学校等へ配布されるようである。安全性が問われる現在、受けるべきではないと考えるが所思を聞きたい。	ゲノム編集食物については、一般的に広く認知されているとは言いがたく、今後の状況を注視し慎重に判断していきたい。	今後も注視していく。	教育委員会
	2. 給食センター運営 昨年の定例会の委員会で、給食センター運営の一部が委託されると聞いた。現状と一部委託の双方について利点と欠点があるが、一部委託された後も残食率の課題が憂慮される。所思を聞きたい。	給食センターだけでなく、学校では、食品ロスなど環境問題、食育の授業や給食指導、また家庭では、食への関心と理解を深めてもらうなど連携しながら、残食を減らしていきたいと考える。	学校での環境教育や給食指導、また給食だよりや食育だよりを発行し、食への関心や理解を深めることにより残食減に繋げている。	給食センター

令和4年第1回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応
	<p>3. 協力医療機関への功勞表彰 ワクチン接種は行政初の事業であり、1年を超える長期の重要施策だが、住民のご理解と医療機関のご協力のもと順調に進められている。新型コロナウイルス感染症の収束後には、是非とも医療機関を功勞表彰すべきと考えるが、所思を聞きたい。 また、接種に係る様々な費用や副反応が発生した場合の費用負担について聞きたい。</p>	<p>ワクチンの接種状況や感染状況が落ち着いてきたら、関係課と協議のうえ、感謝の意を表すことができるよう検討していく。</p>	<p>ワクチン接種は順調に進められ、現時点においてもワクチン接種は引き続き実施されている。今後も新型コロナウイルス感染症状況やワクチン接種の状況を見つつ検討をする。</p> <p>総務課</p>
伊勢政二議員	<p>1. 認知症条例制定について 認知症になっても、自分らしく暮らし続けられる地域社会を目指す条例を制定することを提案したい。</p>	<p>認知症本人やご家族への支援、地域づくりの取組みを進める中で、条例制定についても検討していく。</p>	<p>認知症施策として、今年度は認知症カフェの開催頻度を増し、新たに、きたじまるしえでの啓発活動や住民・町内企業を対象に講演会を実施した。認知症ご本人やご家族などの思いを重視した施策、地域づくりに繋がるよう、これらの活動を積みながら、検討していく。</p> <p>地域包括支援センター</p>
	<p>2. 庁舎内の固定電話廃止について オフィス改革の一環として庁舎内の固定電話を全廃し、職員1人1人にスマートフォンを貸与して内線・外線に使用することを提案したい。職員が庁舎内外のどこにいてもつながり、職員間のコミュニケーションの活性化も期待できる。</p>	<p>固定電話は、防災の観点から災害時無線通信として必要である。スマートフォンは機器の更新サイクルが早いと、費用面も含めた導入の実現性を検討していく。</p>	<p>固定電話は、防災の観点から災害時無線通信として必要であるため、現時点では現状の運用を続けていく。</p> <p>総務課</p>
	<p>3. 消防車のサイレンについて 火災でないのに消防車が救急車と同時に出勤する場合でも消防車は火災時と同じウーウーウーのサイレン音で緊急出勤している。火災でない場合は、サイレン音を切替える設備を導入することを提案したい。</p>	<p>消防車のサイレンは、道路交通法に基づく全国共通のルールがある。板野東部消防組合には火事専用ダイヤル（697-3119）もあるので町報などで改めて周知を図っていく。</p>	<p>火事専用ダイヤルについて、町報で周知を行った。今後も各種サービスの案内など周知を図っていく。</p> <p>危機情報管理課</p>
	<p>4. いじめ相談タブレットについて 小中学生に1人1台配備されているタブレット端末に、毎日の学校生活を記録するシステムがあり、このシステムにいじめ等相談できる機能を追加し、教員に相談ができるようする提案をしたい。</p>	<p>担任1人が児童生徒の心のケアを抱え込まず、学校で状況共有できる方法としても効果が期待でき、アプリを含め現場の意見を取り入れていきたい。</p>	<p>児童生徒が一人で悩みを抱え込まず相談できる手立てを増やせるよう調査検討を続ける。</p> <p>教育委員会</p>
武山光憲議員	<p>1. 主権者教育（子どもを大事にする町行政と投票率向上）について 若者の投票率向上面から、 ①主権者教育について、子どもを大事にする町行政の継続を実践しているか。</p>	<p>小学6年生の社会公民の授業で政治・選挙について学習している。ご提案の実現について関係課、学校現場と慎重に協議していく。</p>	<p>小学6年生の社会公民の授業で政治・選挙について継続して学習している。</p> <p>教育委員会</p>
	<p>②投票場に子どもと一緒に行くように教育現場、町報、冊子等で呼びかけてはどうか。</p>	<p>投票所へ子どもと行くことで、親子での話し合いや、興味を持つ機会になると考える。</p>	<p>子どもに選挙や投票について興味をもってもらえるよう、子ども向けのパンフレット等を使用して広報していく。</p> <p>住民課</p>
	<p>③町内の事業者の協賛で、食事・飲み物等で無料券を配布できないか。</p>	<p>無料券の配布は、何も貰えないのなら投票しないという心理を生み出すことにならないかと思われる。</p>	<p>無料券の配布は予定していないが、選挙時の投票の呼びかけ等啓発に努めていく。</p> <p>住民課</p>
	<p>④小中学生の選挙管理委員会で模擬投票を開催してはどうか。</p>	<p>学校で模擬投票などを行うことは、投票の仕組みを学べる良い学習になると考える。</p>	<p>今年度は北島中学校の授業で使用するために投票箱等を貸し出した。今後も選挙について学べるよう学校等関係機関と協力していく。</p> <p>住民課</p>

令和4年第1回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
	⑤立会人を若者の参加により投票を身近なものにすることについて。	投票立会人は、若者に敬遠されがちだが、投票への意識が向上するよう協力を求めている。	定期的に投票立会人の募集をし、若者にも投票への関心をもってもらえるよう努めていく。	住民課
	⑥NIE教育の促進について聞きたい。	NIEは、新聞を教材として活用する教育活動で、校内に閲覧できる新聞をおくことや、学校や家庭での学習に新聞を活用することは、社会への関心を高め主体的に考える力を養うことに繋がると考える。	新聞を教材として活用する教育活動は今後も取り入れていきたい。	教育委員会
	2. 公共施設、公園内のトイレについて 公園内トイレが汚いという声が聞かれる。 ①公園内トイレの掃除管理者、掃除期間はどうか。	清掃業務を外部委託し、公園の規模や頻度に応じて月1回～4回清掃している。	来年度(R5年度)よりトイレの清掃回数を増やす予定としている。	建設課
	②公園等にごみ箱を置かないことで、ごみを現場に置き去りにするのはどうか。現状の写真等を学校現場での継承、町報等で啓発していくべきではないか。	公園内にゴミの持ち帰りを促す看板等の設置や、町ホームページ・町報などでも啓発していく。	公園巡視や除草の際にはゴミの回収も行っており、引き続き継続していく。	建設課
	3. 自殺防止へのウェブ広告による支援 インターネットで自殺に関連しそうな用語を検索した場合、行政の窓口相談や医療機関などのサイトに誘導されるよう、広域でも協議したらどうか。	ウェブ広告等を利用し、悩みを持つ方が内容に応じた機関に相談できる環境は、命を救う第一歩となり得る。県や関係機関と連携し、先進地を参考に自殺予防対策をより一層進めていきたい。	ホームページで周知(関係リンクなど)	健康保険課
	4. 自治体間での先進事例の研修について 公務員有志が開催するウェブ会議は、全国の職員が参加し、自治体運営の約50分野に及んでいる。 また、IT企業が提案するチャットアプリでは、約700の自治体が導入し、先進事例を研修し、政策提言に寄与している。検証してはどうか。	ご提示のチャットアプリについては、総務課で既に無料枠分での使用しており、令和四年度より全正規職員が使用できるよう予算計上をしている。 また、デジタル庁が運用している民間ツールを使用したデジタル改革共創プラットフォームにも参加している。 今後も様々な媒体を駆使し、情報収集に努めていく。	チャットアプリについては、全職員で運用を開始している。今後も様々な媒体を駆使し、情報収集に努める。	総務課
	5. 極低体重児の母子手帳「リトルベビーハンドブック」の改訂について 1. 500g未満の出生児とその親のために作られた手帳が全国で活用されている。北島町が率先し、県に提案・要望してほしい。	母子健康手帳のサブブックとしての活用のため、保護者、行政、医療機関等と連携し作成してもらえるよう、さっそく県に提案・要望していく。	県に提案・要望を行った。	子育て支援課
	6. 全補助金に対する終期について 全補助金件数と、終期の設定の有無について件数別に聞きたい。 また終期のない補助金は漫然と交付が続く傾向がある。費用対効果から再検証をしてはどうか。	令和3年度当初予算での補助件数は97件である。その内終期の設定があるものは7件で、ないものは90件である。 法律等に基づくものを除き、事業の自立化の促進や補助効果の検証等を実施するよう検討している。	令和5年度当初予算において、継続的に同一の補助金が支給されている団体等については、その財政状況等を確認し、補助金支給の適正性及び有効性を慎重に検討をしている。	総務課
	7. 自治体における賠償責任について 新聞報道で、普通地方公共団体の長の賠償責任問題が取り上げられていた。住民訴訟等の結果、首長等が自治体に対して個人として負担し得ないような損害賠償責任を一部免責にする条例を検証し、策定してはどうか。	近隣の自治体でも既に制定されており、他団体の例を参考として同様の条例の制定について検討していく。	継続して検討する。	総務課

令和4年第1回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
佐々木紀子議員	1. デジタル人材の輩出へ向けたDX推進事業について 町長の所信表明の中で、デジタル人材の輩出を目的とした補助事業に取り組んでいくとあったが、具体的な内容をお伺いしたい。	国、民間が実施するIT系資格試験受験料に対し、2万円を上限として補助を行い、人材育成に繋がりたいと考えている。	令和4年度において、デジタル人材育成支援事業補助金を創設し、人材育成に努めた。	総務課
	2. 町営墓地の案内看板設置について 町営墓地の東高房墓地の場所が分かりづらいとの指摘があった。分かりやすい案内看板の設置を工夫してはどうか。	令和4年度予算で墓地のフェンス工事に併せ、墓地敷地内の見通しのよい場所に案内看板を設置し、利便性を図っていく。	今年度完成予定。	まちみらい課
	3. 町立小中学校における学習用端末のルーター貸出しについて コロナ禍で学力の低下や家庭のネット回線、ICT技術の格差を心配する声も増えてきている。 ①学級閉鎖や臨時休業となった場合、家庭と学校間の双方型オンライン学習の実現について、現段階の準備はどうか。	現在、フィルタリングソフト導入を終え、家庭への端末持ち帰りを開始している。	今後も継続する予定。	教育委員会
	②各家庭へのWi-Fi接続環境の調査は行っているのか。また、未接続世帯はどのくらいか。	今年度調査の結果、約40世帯が未整備となっている。	アンケート結果に対応しポケットwi-fiを教育委員会事務局で購入、貸し出しを実施した。	教育委員会
	③未接続世帯に対して、ルーターの貸し出し事業を早急に進めてはどうか。	保護者に整備のお願いを行うとともに、貸出用ルーター50台の予算を計上している。	経済的に厳しい家庭に対して希望者にはポケットwi-fiの貸し出しを実施している。	教育委員会
	4. 災害発生時の避難所体育館にエアコン設置を 以前、一般質問で学校体育館に、ガスを熱源とするエアコン設置の要望をしたが、その後の進捗状況はどうか。	令和3年度小中学校講堂換気空調設備基本設計で、換気方法や熱源の検討を実施し、4校共通の基本モデルを決定している。 本事業は、防衛省補助の協議も済み、令和8年度までの間で実施する。	来年度から順次各小中学校講堂にエアコンを整備の予定。	教育委員会
	5. 災害対策基本法改正に伴う個別避難計画の作成について 災害対策基本法改正の中で個別避難計画の作成が努力義務化された。 ①今回の法改正でどのように変わったのか。	平成25年改正で避難行動要支援者名簿の作成が市町村の義務となり、個別計画が促されていたが、令和3年の法改正では、個別避難計画の作成が努力義務となった。	左記により完結。	社会福祉課
	②避難行動要支援者名簿には、現在、名簿登録対象者数は何名いるのか。	現在、避難行動要支援者名簿のシステム管理を進めているが、名簿の対象外となる施設入所者なども含まれているため、精査が必要である。	現在精査に努めている。	社会福祉課
③そのうち、避難支援等関係者へ名簿公開の承諾がある方は何名いるのか。	個人情報の提供に同意されている方は、令和4年1月現在で507名となっている。	左記により完結。	社会福祉課	
6. 医療的ケア児の支援について 今年9月に医療的ケア児支援法が施行され、支援強化を目的にその児童及び家族への支援が責務となった。 ①医療的ケア児とその家族へ、成長に合わせた継続的支援が必要になってくると考えるが、相談窓口も含めてどのような仕組みになっているのか。	相談体制としては、子育て支援課や社会福祉課などが窓口となり、関係機関と連携し進めている。	左記により完結。	社会福祉課	

令和4年第1回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
	②現在、本町において定時医療的ケアが必要な児童生徒は何人ぐらいいるのか。	本町では、数名の方を把握している。	左記により完結。	社会福祉課
	③現状や必要な支援を把握するため、聞き取りなどは行っているか。	保健師が、出生手続きの際や赤ちゃん訪問・乳幼児健診時に聞き取り、また電話や訪問支援も行っている。3歳児健診以降も継続して聞き取りし、就学希望があれば、教育委員会や社会福祉課等の関係機関に随時相談し、連携していく。	今後も継続して聞き取りを行い、必要な支援につなげられるよう関係機関と連携する。	子育て支援課
	④今後、医療的ケア児が、本町内の幼稚園・小中学校へ就学を希望した場合、看護師など受け入れ体制は、現在、どのような進み具合であるのか。	本町ではまだ受入実績がないため、県内の先進自治体を参考に、ガイドラインの構築や看護師等の人材・財源の確保について、調査研究を進めていく。	医療ケア等のサポートが必要な児童生徒に対しては、対象児童に合わせた対応を予定している。	教育委員会
	7. 带状疱疹予防ワクチン接種について 日本人成人の90%以上は、原因となるウイルスが体内に潜伏しており、80歳までに約3人に1人が発症するといわれている。本町ではこれまで、このワクチンの啓発や接種勧奨はどうであったのか。	現在のところ任意接種となっており、これまでに接種に関する啓発や接種勧奨は行っていない。	左記により完結。	健康保険課
板東泰史議員	1. 民間救急車の費用負担について 民間救急車をコロナ疑いのため医師や保健所の依頼で手配された場合、費用は各自治体が基準により負担する。 ①これまでの利用実績はあるか。	県が民間事業者と契約して事業を実施しており、北島町で利用実績は把握していない。	左記により完結。	健康保険課
	②北島町の負担は、どのように定められているか。	県が締結している契約に基づき、費用を負担することとなっている。	左記により完結。	健康保険課
	2. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果公表について 総務省の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金4兆5千億円について、効果の報告を自治体に求めるとの報道があった。 ①交付金を利用した事業数と予算額は総計いくらか。	令和2年度事業として47事業、総事業費349,445千円（見込み）。令和3年度事業として16事業、総事業費143,094千円（見込み）となる。 令和4年度事業として65,584千円繰越し実施する。	左記により完結。	まちみらい課
	②報告について総務省から通達があったか。また報告の準備についてはどうか。	総務省より事業の実施状況及び効果について公表するよう事務連絡があった。事業目的・事業内容に応じて効果を測定し、ホームページで閲覧できるように進めていく。	令和2年度、3年度についてはホームページにて効果公表している。	まちみらい課
	3. 燃料電池車への補助金と軽自動車税減税について 来年度より燃料電池車（FCV）と電気自動車（BEV）に補助金を設けるとの報道があった。 ①来年度の電気自動車等普及促進事業補助金のうちFCV利用分として何台分を見込んでいるか ②原油高とウクライナ侵攻でガソリン代負担を支援する目的で、軽自動車税の時限的減税措置を講じることや、前述の交付金は利用できないか。	燃料電池自動車が定額50万円で5件、予算額250万円。電気自動車が定額30万円で30件、予算額900万円を見込んでいる。	令和4年度実績 燃料電池車 0件 電気自動車 17件	まちみらい課
		現行の減免は、公益事業や社会福祉法人事業に供していることや身体障害者等が使用する軽自動車について限定的に適用される制度のみであり、ガソリン代の負担軽減につながる制度はない。トリガー条項の凍結解除も含めた、今後の動向を注視していきたい。 また市町村が独自に税を減免した場合には、交付金は利用できない。	左記により完結。	税務課

令和4年第1回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応
増谷禎通議員	1. コロナワクチン感染対策問題について オミクロン株は急激に感染拡大し、全国で10万人を超え、県でも400人を超える異常な状態である。 ①感染者の状況について、自宅待機数、入院患者数、待機ホテルなど非公開だが、この秘密主義が感染者の拡大に繋がっているのではないか。	個人情報の保護や誹謗中傷を防ぐため、自宅療養等の詳細情報は非公開となっている。	左記により完結。 危機情報管理課
	②学校閉鎖や学級閉鎖は、どんな状況になれば、その措置をどなたの判断で行っているのか。	校内に1名でも感染者が出たら全学年を休業していたが、2月中旬より県の方針が変わり、学級単位で休業することが基本となった。現在、学校と教育委員会で学級閉鎖を決定している。	現在も学級で複数の感染者が確認され、急速な感染拡大状況にあると判断される場合に学級閉鎖を実施している。 教育委員会
	③現在まで何校の学校閉鎖や学級閉鎖が行われたのか。	2月末現在で、学校閉鎖をした学校は3校で、学級閉鎖は全学校でしており、計11クラスとなっている。	現在も引き続き、県の方針に従い感染防止対策を継続中である。 教育委員会
	④何箇所の町内事業所や介護施設などでクラスターが起きたのか、課長の答弁を求めたい。	事業所等でのクラスターは、原則非公開とされているが、感染者と接触した人が不明の場合は、その名称や所在地が公表されている。	左記により完結。 危機情報管理課
	⑤今定例会で請願書も出されているが、医療を守る観点から、ことあるごとに国立病院統合や病床削減に反対する要請をしていただきたい。町長の見解を求めたい。	さらなる医療体制の充実や病床確保に向け、国や県に要望していきたい。	左記により完結。 健康保険課
	2. 学童保育問題について ①各児童館の収容人数と保育状況について報告されたい。	小学1～4年生までを登録児童とし、5館合計の定員は560人で、2月末現在の登録児童数は427人である。	左記により完結。 社会福祉課
	②2年保育や働く世代の増加で、児童館の増設が必要になっていると思うが見解を求めたい。	利用者数の推移に注視しながら、既存施設の活用や増設についても検討していきたい。 また、高度な知識・技術・経験を持つ人材の雇用についても検討していく。	利用状況の把握に努めている。 社会福祉課
	③児童館の職員に対する人件費や、待遇改善の指示が国から出されているが、本町はどのように対処されているのか。	4月分から嘱託職員については、月額1万円の増額、パートやアルバイト職員等もそれぞれ増額している。	左記により完結。 社会福祉課
	3. カーボンニュートラル問題について ①公用車に燃料電池車の購入を上げているが、どのような車の導入を考えているのか。	経済産業省の補助金対象を満たす車種では、トヨタ自動車ミライであり当該車種の導入を予定している。	トヨタミライを購入し、購入契約金額は、6,749,540円である。国からの補助金については国の令和4年度補正予算となり、令和5年度に入金(1,453,000円)が見込まれる。 総務課
②燃料電池車は、大変高額であると聞か、国や県の補助も含めて総額はいくらになるのか。	見積価格は約789万円で、歳入の補助金を117万3千円予算計上し、実質北島町負担額は約672万円を見込んでいる。	総務課	
③カーボンニュートラルに積極的に取り組む自治体へ補助金の支援事業(国全体で200億円)があるが、北島町はどのような対策を立てているのか。	令和4年度はカーボンニュートラルに向けた再エネ導入の目標設定を行い、令和5年度には地球温暖化対策実行計画を作成し、交付金を活用できるようにしたい。	令和6年度 補助金申請を目標に準備を進めていく。 まちみらい課	

令和4年第1回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応
	④太陽光発電システム普及推進補助金制度が実施されるが、北島町の補助額等はどのようになっているのか。	システムごとに補助金額を計算し、上限を10万円から30万円としている。補助件数は太陽光発電システムのみと蓄電システムのみが各10件、同時設置が30件予定している。	令和4年度実績 太陽光発電システム 23件 蓄電システム 11件 同時設置 9件 まちみらい課
	⑤北島町の公共施設の太陽光発電システム設置計画はどのようになっているのか。	本町の目指す脱炭素先行地域としての方針を決定し、必要に応じて公共施設への太陽光発電の設置を検討していく。	まちみらい課において、北島町公共施設への太陽光発電設備等の導入調査を令和5年度に予定している。 総務課
	⑥以前に太陽光発電パネル付の街灯設置を提案したが、どのような計画になっているか、担当課長の見解を求める。	温水プール駐車場やプールへ続く公園通路で、自立式タイプの太陽光発電パネル街灯を設置している。 道路照明は、電柱に共架するものが限られているため、電柱がない場所や、避難場所となる公園で、自立式太陽光発電パネル付の街灯を設置していく。	現在、自立式街灯を検討中の箇所があり関係者等との協議中である。 建設課
	4. 教育問題について ①学級閉鎖等で感染児童に勉強の遅れが出ていると思うが、どのような措置を講じているのか。	1日の授業時数を増やしたり、学校行事を精選し補ってきた。春季休業期間は、授業計画が難しく新年度早期に計画を立て、学びの保障をしたい。	授業を計画的に進め、できるだけ学びの補償をしていく。 教育委員会
	②他県の中学校で、中学生のAED救命措置により、教師の命が救われたことが話題になっている。北島町における救命訓練の現状はどうか。	本町では毎年、小中学校教員と、中学2年生全員に救命講習を行っている。 緊急時にはためらわず救命活動ができるよう、より実践的な研修を行っていきたい。	今後も同様に救命講習の授業実施を予定している。 教育委員会
	5. ぐるぐる福祉バス問題について ぐるぐる福祉バスの利用者が少ないとの新聞記事により、広報委員会は調査した。 ①利用者は非常に喜んでくれており、現在の福祉バスとぐるぐる福祉バスを統合して、月曜日から金曜日まで走らせるように、改善してもらいたい。担当課長の見解を求める。	老人福祉センター利用者の送迎バスという役割を継続しながら事業を拡充できるよう検討していく。	社会福祉協議会と協議済。老人福祉センターの事業にあわせて送迎バスを運行していることから統合は難しく、現状の運行状況を継続していく。 社会福祉課
	②誰でもどこでも乗れること、バスに携帯があり、問い合わせもできるなどの宣伝が足りない。担当課長の見解を聞きたい。	今後はLINE（ライン）等も活用しながら、利用に結びつけていきたい。	町報、ホームページのほか、LINEでの広報を行った。 社会福祉課
	③バスはかなり老朽化している。車椅子対応のワゴン車を福祉車両助成団体、10団体に申請すべきであると思うがどうか。	バスも老朽化してきており、要件を満たせる福祉車両助成事業について申請をしていきたい。	社会福祉協議会と協議済。社協において助成団体を調査し助成対象となる事業に申請していく。 社会福祉課
	④夕方の便を増やしてほしいなどの意見もある。担当課長の見解を聞きたい。	夕方の増便については、北島町社会福祉協議会と協議しながら検討していく。	社会福祉協議会と協議済。利用状況などを精査し運行状況を見直した。 社会福祉課
	6. 下水道問題について ①北島町は下水道の普及率が低いとの新聞報道があり、松茂町を調査した。接続するために専門家によるサポーター方式を導入している。検討すべきではないか。	引き続き公共下水道の工事概要、助成金制度等を詳細に説明し理解を求め、接続率の向上を図りたい。	下水道整備予定の箇所は、工事着手前に助成金制度等の説明を行い、工事完成後に改めて助成金を含む接続の案内を行っている。また、整備済みの箇所についても訪問し接続の依頼を行っている。 下水道課

令和4年第1回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
	②北島町は古い団地が多いので、側溝の中に下水配管を敷設して、各家の排水を繋ぎ、それを一括浄化するよう検討してはどうか。	令和4年度から新しく汲み取りから合併浄化槽への転換に伴う宅内配管工事も、国の補助対象となる。この新制度についても丁寧な案内を行うとともに、町報やホームページでも広報していく。	合併浄化槽への転換補助金制度について町報とホームページに掲載し案内している。合併浄化槽への転換が進むよう引き続き補助金制度の周知をしていく。	下水道課
	7. 観光事業について ①町長の所信表明にもあるが、イーストとくしまとの連携を図り、ひょうたん夏祭りときたじまるしえなどを統合して町全体の祭りにするべきであると考えるが、どうか。 ②ひょうたん夏祭りときたじまるしえの予算を統一すると382万円になる。推進実行委員会を作り、議会やボランティアも含めた町全体の祭りにしてもらいたいが見解を求めたい。	ひょうたん夏祭りときたじまるしえの統合については、北島町商工会やきたじまるしえ実行委員会等の関係機関の意見を聞き協議を深め、最善の方向性を探りたい。	今年度は、ひょうたん夏祭りとフジグラン北島でのミニマルシェを同日開催し、イーストとくしま観光推進機構とも連携し、会場同士をボートを運航してイベントを開催した。	まちみらい課
	③高房河川敷を国土交通省の協力を得て植栽を進め、開発で失われつつある緑を取り戻すプロジェクトを立ち上げてはどうか。	河川敷の緑化は、周りを川に囲まれた当町ならではの手法と思われるので、有効活用ができるよう検討するとともに、国土交通省にも要望を行っていく。	2月13日に旧吉野川出張所、続く14日に徳島河川国道事務所および四国地方整備局へ公園整備を含む堤防の整備要望を行った。	建設課
	8. ログハウス管理について ①福祉法人ちゅうりっぷが解散した。この際ログハウスを当初の目的であるトレーニング等の休憩施設として、指定管理施設に加えてはどうか。町長の見解を求めたい。	東部地域活動支援センターちゅうりっぷは解散するが、障害福祉サービス事業は、社会福祉法人に引き継がれるため、今後も指定管理によらず、行政財産の使用許可によって継続して使用していただく。	左記により完結。	まちみらい課